

単元名 1 広がる学びへーアイスプラネット

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) 登場人物の心情や考え方が表れた語句に注意して、作品を読むことができる。
 (2) 「ぐうちゃん」の言動から人物像を捉え、他の登場人物との関係を人物相関図にまとめることができる。
 (3) 積極的に登場人物の設定のしかたなどを捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとする。

標準的な展開例

11210102_001

【準備等】国語指導CD、再生機

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 「アイスプラネット」を通読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「アイスプラネット」とは、何か想像させる。 ○p.14「目標」やp.24「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 ○本時の学習課題をつかむ。 ★作品を読んで、あらすじを捉えよう。 ○全文を通読する。 ○注意する語句・新出漢字を調べる。 <p>2 「ぐうちゃん」について整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題をつかむ。 ★「ぐうちゃん」の人物像について整理しよう。 ○本文を黙読する。 ○「ぐうちゃん」の人物像について確認する。 ○「ぐうちゃん」に対する「僕」「母」「父」それぞれの思いが分かる言葉や表現を挙げ、それらに込められた思いを確認する。 ○次時の学習について聞く。 <p>3 「ぐうちゃん」に対する「僕」の思いを読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ぐうちゃんの人物像について振り返る。 ○本時の学習課題をつかむ。 ★「ぐうちゃん」に対する「僕」の思いを読み取ろう。 ○本文を黙読する。 ○「僕」と「ぐうちゃん」の関係がどのように変化したのか考える。 ○「僕」が「ぐうちゃん」の部屋に行けなかった理由を考える。 ○手紙と写真を受け取ったときの「僕」の気持ちを想像する。 ○本時の振り返りをする。 <p>4 「ぐうちゃん」に対する自分の思いをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○前時までの活動を振り返り、本時は「ぐうちゃん」に対する自分の考えをまとめることを知る。 ○本時の学習課題をつかむ。 ★「ぐうちゃん」に対する自分の考えをまとめよう。 ○「ぐうちゃん」の生き方について、自分の考えをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の口絵で、アマゾンの様子、アイスプラネットなどを見せ、イメージを膨らませておくといよい。 ・教師の範読か、国語指導CDを利用する。 ・「ぐうちゃん」の人物像が読み取れる表現に印を付けながら黙読させる。 ・「ぐうちゃん」に対する「僕」の思いが、「大好き」から「好きではない」まで、揺れ動いていることに着目させる。 【評】登場人物の思いを読み取る活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。 ・次は、「ぐうちゃん」に対する「僕」の思いを読み取っていくことを告げ、次の学習の見通しをもたせる。 ・前時にまとめたものを読み直させる。 ・本時の目標を意識し、「僕」と「ぐうちゃん」の関係が読み取れる表現に印を付けながら黙読するように促す。ペアや小グループで確認した後、全体で共有させる。 ・まとまりごとに、「僕」が「ぐうちゃん」にどんな思いを抱いているかを、「ほら話」にまつわる表現に着目させながら捉えていく。 ・全体での発表の前に、学級の実態に合わせてペアや小グループで発表したり、相互評価したりするのもよい。 ・手紙の文面から「ぐうちゃん」の考えや思いを踏まえさせる。 【評】手紙をもらった「僕」の気持ちを想像する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・「ぐうちゃん」に対する「僕」の思いの変化について分かったことや思ったことをノートにまとめさせる。 ・次時は、自分が「ぐうちゃん」の生き方をどう考えるかまとめることを告げ、学習の見通しをもたせる。 ・グループで交流することを告げ、端的に自分の考えと理由をまとめるように指示する。200字程度を目安にまとめられるように用紙を準備しておく。 ・「ぐうちゃん」の生き方について、単に感想

- 考えをグループで交流する。
- 学習を振り返る。

を述べて終わらないよう、適宜、次のような投げかけをして、生徒が自分の考えを深められるようにしたい。

- ① 自分の経験の中から具体例を挙げる。
- ② 登場人物の「ぐうちゃん」への思いを比較する。
- ③ 魅力を感じる点と違和感を感じる点を両方挙げる。

- 【評】自分の考えをまとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。
- ・ ペアや小グループで順番に自分の考えを述べさせる。
 - ・ p. 25「振り返る」を使って、登場人物の設定の捉え方について、分かったことを挙げる。

【 備 考 】

第1学年までに学習してきたことを振り返り、第2学年の学習に新たな気持ちで臨むことができるような作品が取り上げられている。ここでは、親しみやすい詩や物語、古典などの文章を読んだり、職業に関する情報を集めたりして、これまでに学習したことを振り返り、今後の学習の見通しをもたせたい。

言語活動としては、詩や物語、古典などの文章に触れることにより、言葉の豊かさに気付かせ、その場に合った表現ができるようにしていきたい。このことは、国語学習だけにとどまらず、日常生活の中でもその場に合った豊かな表現活動ができる礎になるとよい。

また、「アイスプラネット」では、ぐうちゃんの僕に対する思いはこの年代の子どもたちにとっても望まれることであり、自分のこれまでの生き方・考え方を振り返らせるよい機会となることだろう。これは、道徳のB－(9) 相互理解・寛容にあたる。